



作業開始前に本書を必ず一通りお読みになり、内容をよく理解してから作業を始めて下さい。

＜商品内容＞

- ① POWER BOX パイプ ×1
- ② フランジナット(M8) ×1

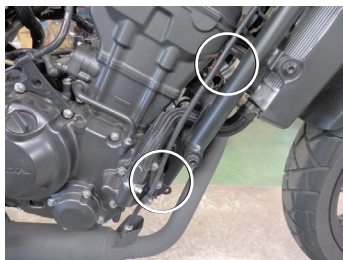
※ 説明書内の写真は試作品の為、実際の商品とはパイプの形状等、一部異なる場合があります。
 ※ 作業は平坦な場所でエンジン、マフラーが完全に冷えた状態で行って下さい。
 ※ 本製品にはエキゾーストガスケットは付属しておりません。取り付け後の排気漏れを防ぐ為にも車種専用の物をご購入の上、新品に交換して下さい。
 ※ ボルト類の組み付け時には、緩み防止の為に“ネジロック剤”を塗布の上、締め付ける事を推奨しています。
 ※ 作業時のキズ付き防止の為に、マフラー取り付け部廻りの塗装部分にはあらかじめガムテープ等を貼って養生しておく事をお勧めします。

① 純正マフラー・一式を取り外します。(サイレンサー → エキゾーストパイプの順に取り外します)



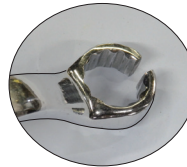
サイレンサー内側

サイレンサーバンドとサイレンサー上部を固定しているボルトを緩めて抜き取り、サイレンサーボディを小刻みに揺する様にながらエキゾーストパイプからゆっくりと抜き取ります。(取り外したボルト類は後で再使用)



めがねタイプ

ソケットタイプ

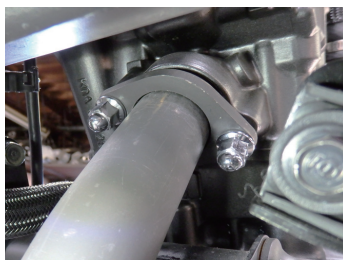


センサーを緩める際の工具は切れ目の入ったフレアナットレンチ(17mm サイズ)がおすすめです。

排気ガスセンサーの配線を止めているクリップを一旦取り外して配線が自由に動く状態にしておきます。

排気ガスセンサーを取り外します。
※配線にストレスがかからない様に注意！
(排気ガスセンサーは後で再び取り付けます。)

●エキゾースト・ガスケット
HONDA純正品番:18291-MEB-670



純正エキゾーストパイプに使われているこのスペーサーはこの後使用しません。

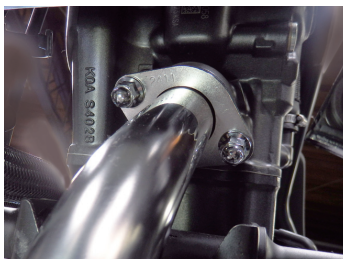


エンジン側固定部のフランジナットを取り外します。(後で再使用します。)

エンジン下の固定箇所を取り外し、エキゾーストパイプを車体からゆっくりと取り外します。(ボルト類は後で再使用します。)

エンジン接合部のエキゾースト・ガスケットを新品に交換します。(別途お買い求めください。)

② POWERBOX パイプ を装着します。 ※ エキゾースト・ガスケットは専用品を別途お買い求めください。

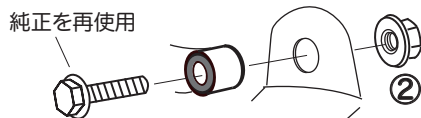


POWERBOXパイプをエンジン差込部に仮組みします。フランジの固定には純正のナットを再使用します。

エンジン下は純正マフラーの固定方法と同じ様に、付属のナットを使用して仮止めします。

サイレンサーのジョイントガスケットは再使用します。著しく傷んでいる場合には交換します。レブル専用サイズのカスタムガスケットをお買い求め下さい。

サイレンサーボディをPOWERBOXパイプに組み込みます。ガスケットを傷めない様にゆっくり丁寧に入れます。入れ難い場合にはグリスを塗って滑りを良くすると入れやすくなります。



●サイレンサー・ガスケット
HONDA純正品番:18391-MGP-D60



マフラー交換時に排気ガスセンサーを取り外したままの状態ではメインスイッチを ON にすると、センサー部に異常があると判断してメーターの警告灯が点灯してしまいます。一度点灯した警告灯は簡単に解除できません。排気ガスセンサーを本締め固定するまでメインスイッチは絶対に ON にしないで下さい。万が一警告灯を点灯させてしまった場合には専用の機材による点検、解除が必要です。車両ご購入先のバイクショップに相談して下さい。



サイレンサー上部を仮止めします。取り付けのボルト / ワッシャーは純正を再使用します。



サイレンサー差し込み部のバンドを仮締めます。(純正を再使用)



仮組みの状態、各部との隙間を良く確認して下さい。転倒歴のある車輛などにおいては特に注意が必要です。

③ 本締めを行いません。

各部の隙間や取付状態を再度確認し、調整しながら仮止めしていた箇所全てを本締めします。

④ 排気ガスセンサーを取り付けます。



排気ガスセンサーを取り付けます。配線に無理がかからない様に注意しながら締め込み、本締めします。(画像は試作品によるものです。実際の製品とは仕上げや形状が若干異なります。) 純正パイプの時と同じ様に配線をクリップに固定します。

⑤ 作業中にマフラーに付いた汚れや油分をパーツクリーナー（脱脂剤）でしっかりと取り除きます。

汚れや油分がマフラーに付いた状態で熱が加わりますと、後で落とすのが困難になりますのでご注意ください。

⑥ エンジンを始動し、排気漏れがなく、装着状態に問題の無い事が確認できましたら作業終了となります。



- ※ 装着直後は、しばらくの間マフラー内部に残った油分により、臭いや排気出口から白煙が発生する場合がありますが、徐々に収まっていきます。
- ※ 安全にご使用いただく為にも取り付け状態やボルトの緩みのチェックは定期的に行なって下さい。
- ※ 製品によっては、サイレンサーやマフラー本体に小さな穴を空けている事があります。これは水抜き用に設けられた穴ですので、特に問題はありません。
- ※ 本製品は構造上使用状況によってアフターファイヤーが発生する場合がありますが、性能や耐久性に問題が生じるものではありません。
- ※ 日頃のお手入れはたっぶりの水で洗車、またはパーツクリーナーで。汚れのひどい時には泡状に吹き付けたマジックリンを使用して拭き上げ、パーツクリーナーで仕上げして下さい。
- ※ 本製品で使用しておりますステンレスはその特性上、熱によって表面に焼け色が付いてきますがこの現象は異常ではございません。また、弊社より発売中のケミカル『ホロクリンジェル SP』をお使いいただきますと非常に効果的に焼け色を落とす事ができます。

上記内容も合わせて良くご理解いただいた上でご使用下さい。